

# 教育委員会会議録

令和7年4月11日（金） 午後1時04分 開会  
午後1時41分 閉会

## 1 議事日程

別紙のとおり

## 2 出席した委員等

川原馨教育長、河野明日香委員、内田智子委員、片山裕之委員、田村太一委員

## 3 出席した職員

坂川智事務局長、高木健一次長兼管理部長、橋本具征教育部長、佐藤孝教育改革監  
渡部純次総合教育センター所長、大谷健二総務課長、中野幸治財務施設課長  
鈴木光晴教職員課長、清貴康福利課長、長坂昌彦あいちの学び推進課長  
加納澄江高等学校教育課長、尾本国博義務教育課長、伊藤徹特別支援教育課長  
祖父江達夫保健体育課長、松本明博ICT教育推進課長、木全貴治中高一貫教育室長  
川田敦行総務課担当課長、石川陽子教職員課担当課長、鈴木尚哉教職員課担当課長  
吉川直希教職員課担当課長、前田憲一高等学校教育課担当課長  
塚田祐介総務課課長補佐

## 4 議席の指定

愛知県教育委員会会議規則第5条の規定により、川原教育長が議席を指定した。

## 5 前回会議録の承認

川原教育長が各委員に諮り、前回の会議録は承認された。

## 6 教育長報告

### (1) 令和7年春の叙勲候補者の内定について

非公開において報告されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

### (2) 公立学校教職員の懲戒処分等について

非公開において報告されたため、愛知県教育委員会会議規則第14条第3項の規定により、会議録は別途作成。

### (3) 損害賠償請求事件について

鈴木教職員課長が、損害賠償請求事件について報告。  
川原教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

### (4) 令和7年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施結果について

加納高等学校教育課長が、令和7年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施結果に

ついて報告。

川原教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

〔委員の主な意見及び事務局の説明〕

(河野委員)

欠員数が増加しているが、その一方で特色選抜の志願者が昨年度より約 160 名増加、合格率は約 1.0 ポイント上がっているとのことである。特色選抜の志願者が増加した背景について、どのように分析しているか。

(加納高等学校教育課長)

欠員数は令和 3 年度、4 年度入試で徐々に増加し、2600 人を超えていた。その後は令和 5 年度、6 年度入試で徐々に減少してきていたが、令和 7 年度入試ではまた少し増加してしまった。令和 7 年度入試の欠員数は、令和 5 年度入試の欠員数と同等である。一般選抜の志願者が減っており、早期に行う選抜が好まれる傾向にあるのではないかと考えている。

特色選抜は職業学科や専門学科、地域に根差した活動をする等の各学校の特色を活かした入試である。特色選抜の志願者が増加した背景としては、そういった学びたいことに対して意欲を持ち、それを活かす選抜を選ぶ生徒が増加してきているためと考えている。

- (5) 令和 7 年度県立特別支援学校の幼稚部及び高等部の入学者選考結果について伊藤特別支援教育課長が、令和 7 年度県立特別支援学校の幼稚部及び高等部の入学者選考結果について報告。

川原教育長が各委員に諮り、報告事項は了承された。

## 7 請願

請願第 1 号 「2026 年度末までに教員の長時間労働をゼロに」する取り組みについての請願。

川原教育長が各委員に諮り、「賛成者なし」により本請願は不採択とされた。

〔委員の主な意見及び事務局の説明〕

(片山委員)

県立学校において、時間外在校等時間をどのように把握し、管理職はどのような対応をしているのか。

(鈴木教職員課長)

教職員の時間外在校等時間の状況については、タブレット端末等のログイン・ログオフの記録等を活用して、客観的な把握をしている。その上で管理職は、時間外在校等時間が 80 時間を超えている教職員に対して面談を行い、長時間勤務の要因についての聞き取りや指導助言を行うとともに、業務分担の見直しを図ることで状況の改善に努めている。

さらに、県立学校においては、毎年教職員課管理主事が学校訪問を行う際に、継続して時間外在校等時間が多い教員について、校長から長時間勤務の要因や

状況を聞き取りの上、指導助言を行っている。

時間外在校等時間の縮減については喫緊の課題と認識しており、引き続き、働き方改革の一層の推進に向けて取り組んでいく。

(片山委員)

全県立学校がログイン・ログオフの記録で在校時間の管理をしているのか。

(鈴木教職員課担当課長)

県立学校においては、全正規教員にタブレット端末を配備しており、そのログイン・ログオフの記録で在校時間の管理をしている。

(片山委員)

在校時間の縮減は喫緊の課題である。2024年に愛知県が働き方改革ロードマップを作成したと聞いているが、その進捗状況と今後の検証について、どのように考えているか。

(鈴木教職員課長)

働き方改革は、計画・実践・検証・改善というPDCAサイクルを活用していくことが重要である。各学校ではロードマップとともに配付したチェックシートも活用し、進捗状況を確認している。チェックシートは取組内容を通じた削減目標時間を実績と照らし合わせ、次年度への課題・改善について考える構成となっている。

教育委員会としても、今後も進捗状況の検証を進め、ロードマップのアップデートを進めていきたいと考えている。

## 8 議案

川原教育長が各委員に諮り、第17号議案 令和8年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択基準（案）については、審議会に諮る前の意思決定過程の情報であるため、非公開にて審議することとした。

第16号議案 令和8年度使用県立学校（高等学校及び特別支援学校高等部）教科用図書採択の基本方針について

加納高等学校教育課長が、令和8年度に使用する県立学校（高等学校及び特別支援学校高等部）教科用図書採択の基本方針について請議。

川原教育長が各委員に諮り、全員一致により原案どおり可決された。

## 9 協議題

なし

## 10 その他

なし

## 11 特記事項

(1) 審議に先立ち、3月26日付で委員に就任した田村委員から就任のあいさつが

あった。あいさつの後、事務局職員の自己紹介を行った。

- (2) 年度始めに当たり、川原教育長からあいさつがあった。
- (3) 川原教育長が今回の会議録署名人として河野委員を指名した。
- (4) 請願第1号「「2026年度末までに教員の長時間労働をゼロに」する取り組みについての請願。」について、請願者から口頭陳述したい旨の申し出があり、川原教育長が前回会議録の承認後、5分以内に限り口頭陳述することを許可した。
- (5) 傍聴人 3名